

# KP会議ニュース

令和7年12月4日

※KP会議とは、工物品質向上を目的に実施している社内支援会議です。KP:「工物品質向上プロジェクト」の略

本田建設株式会社

12月4日(木)、「令和7年度 佐賀江川大堂地区護岸復旧工事」の現場において「若手・女性技術者現場研修会」を実施しました。若手5名を含めた8人での研修会を実施しました。

今回の研修会では、非常に珍しい潜水士によるカメオンブロック設置の水中施工の現場を視察しました。当区間が感潮区間で常時潮の満ち引きがあるため濁水で視界が取れなく、手探りでの作業によるケガや重機との接触など安全管理に十分配慮する必要があります。また、出来形管理の面では、掘削しても潮の満ち引きの関係で直ぐ土砂が埋まってしまうことや、水中で見えないため出来形の測定方法など工夫が必要な現場でした。

## 古賀監理技術者から、工事概要説明



## 潜水士による水中施工の現場視察



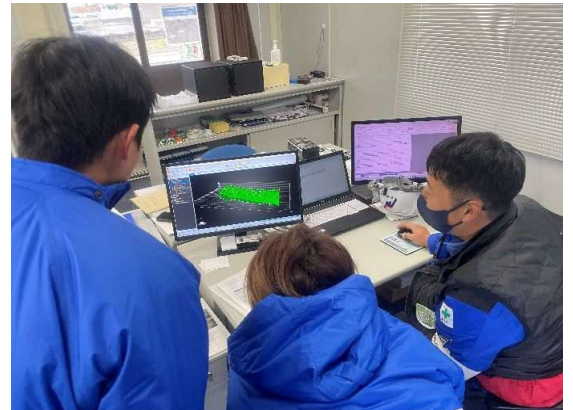
## バケットの塗装(白)・ライト取付による水中暗所での視認性向上



【現場】令和7年度 佐賀江川大堂地区護岸復旧工事  
工種 護岸工  
実施工程  
バケットの白色塗装、  
ライトの取り付けによる  
水中での視認性向上

【現場】令和7年度 佐賀江川大堂地区護岸復旧工事  
工種 護岸工  
実施工程  
バケットの白色塗装、  
ライトの取り付けによる  
水中での視認性向上

## 3次元による施工管理状況



## 無線による潜水士とオペレーターとの意思疎通



【現場】令和7年度 佐賀江川大堂地区護岸復旧工事  
工種 護岸工  
実施工程  
拡声器の設置による  
潜水士無線の共有

【現場】令和7年度 佐賀江川大堂地区護岸復旧工事  
工種 護岸工  
実施工程  
拡声器の設置による  
潜水士無線の共有

## 出来形管理の工夫(ICT施工履歴データ)



【現場】令和7年度 佐賀江川大堂地区護岸復旧工事  
工種 護岸工  
実施工程  
ICT施工履歴データによる  
出来形管理

本日の研修では、若手技術者(古賀監理技術者)自ら現場説明を行っていただきました。

今回、水中施工ということで、それも濁水で見えないという現場状況の中、工夫しながらの安全管理、出来形管理、品質管理を実施していました。研修を通して若い技術者に伝えたいことは、「施工管理は、基本をしっかり身につけた上でその現場ごとの特性に応じて創意工夫を凝らす。」このような思考回路が重要だということが伝わったことを期待します。

